

中自協通信 第20号

令和5年12月8日発行
中部地区自治協議会
☎ 0956-37-8525

令和5年11月22日(水)に総務・研修部会及び環境・福祉部会の合同企画として「熊本地震震災遺構巡り」ツアーを実施しました。50名の参加者は、まず旧東海大学阿蘇キャンパスに設けられた『熊本地震震災ミュージアム KIOKU』を見学しました。震度6強の揺れを受けながら倒壊しなかった建物と断層を一体的に保存している国内には例を見ない震災遺構です。



阿蘇ファームランドでの昼食休憩の後、熊本城に向かいました。熊本城では天守閣全体の復旧が完了し、令和3年4月26日から全面リニューアルした展示がなされ、また最上階からの眺めを楽しめるようになりました。築城から西南戦争での焼失、昭和35年の天守再建、平成28年熊本地震での被災と復旧までを模型・映像などで分かりやすく解説しています。



城の至る所に、地震の爪痕が残っています。



天守閣からの眺めです。



天守閣の内部はブレース(筋交い)で補強しており、見学ルートが整備されています。

編集後記

地震による災害は起きないだろうと考えられている佐世保市でも福岡や熊本での地震で家具が大きく揺れた経験をお持ちの方はそれなりにいらっしゃるのではないのでしょうか。令和4年度に中部地区防災計画を策定し、これから地域の防災力を向上・維持していくために具体化することが課題となっています。今回の「熊本地震震災遺構巡り」ツアーにご参加いただいた50名の方々をはじめ、地域住民お一人お一人ができることから参画していただくことを願っています。災害は忘れたころにやってくる、を具体的に見せてくれた震災遺構でした。